

日銀ネットの有効活用に向けた協議会の「今後の検討体制」 および「新規メンバーの追加公募」等について

1. はじめに

- 本年2月15日に日銀ネットの稼動時間が19時から21時まで拡大された(フェーズⅠ)ことを受け、「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」¹(以下「協議会」)では、フェーズⅠでの取引活性化、フェーズⅡ(さらなる稼動時間拡大)を含めた日銀ネットの有効活用方法について、具体的な議論をしていくため、検討体制を変更するとともに、新規メンバーを追加公募する²。

2. 今後の検討体制

- 協議会に検討結果を報告する検討主体として、従前の2つの打合せ(「新日銀ネット(当預系)の有効活用に関する打合せ」、「グローバルベースでのJGBの有効活用に関する打合せ」)を発展改組し、次の3つのWGを新設する。

(1)「円とJGBのグローバルな有効活用WG」(*Working Group on Cross-border Use of Yen and JGBs*)

(当面想定されるテーマ)

- ・①JGBのグローバルな担保利用の拡充(JGBのFOP決済)、②外貨調達手段の拡充(〈a〉JGBを担保としたクロスカレンシー・レポ、〈b〉当日物為替取引)、③日本円の移動を伴ったグローバルなJGB振替の拡充について、フェーズⅠでの取引活性化、フェーズⅡに向けた議論を行う。
- ・フェーズⅡに向けた、事務処理態勢面・システム面の課題や対応案等について議論を行う。

¹ 協議会の名称については、新日銀ネットが昨年10月に全面稼動開始し、21時までの稼動時間拡大が本年2月に実現したことを機に、従来の「新日銀ネット」から「新」を削り、「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」に変更している。

² 本日、書面開催された協議会第14回会合で合意されたものである。詳しくは、議事概要(日本銀行ホームページ上に公表)を参照。

(2)「円建て顧客送金・銀行間送金 WG」(*Working Group on Cross-border Customer and Bank Transfer*)

(当面想定されるテーマ)

- ・フェーズⅠでの取引活性化、フェーズⅡに向けた議論を行う。なお、銀行間送金に関し、「円とJGBのグローバルな有効活用 WG」と重複するテーマについては、主として同 WG において議論する。

(3)「クロスボーダー決済インフラ WG」(*Working Group on Cross-border Settlement Infrastructures*)

(当面想定されるテーマ)

- ・「円と JGB のグローバルな有効活用 WG」での JGB を担保としたクロスカレンシー・レポにかかる検討内容も踏まえ、中銀等の決済インフラを接続する場合の論点等について議論を行う。
- WG については、従前から参加する決済部門のほか、市場部門など関係部門も幅広く参加可能な枠組みとする。なお、各 WG については、テーマに応じて、関係メンバーや部門が変わり得るため、適宜出入り自由な運用とする。
 - WG での検討結果のうち、協議会に報告されたものについては、従前の打合せの取扱いと同様に、協議会での議論の内容とともに、議事概要および資料として公表される。

3. 新規メンバーの追加公募

- 改めて、日銀ネットの利用金融機関等に対して、広く参加メンバーを追加公募する。(新たに参加を希望する金融機関等は、別紙の要領に従いご応募下さい。)

以上

2016年3月18日

日本銀行決済機構局

(「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」事務局)

「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」の新規メンバー の追加公募要領

日本銀行金融ネットワークシステム（以下「日銀ネット」）の利用金融機関等と業界団体で構成される「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」¹（事務局：日本銀行決済機構局。以下「協議会」）では、2013年8月の第1回会合以来、14回の会合等を通じて、日銀ネットの有効活用方法について議論・検討を続けてきました。

とりわけ、日銀ネットの稼動時間については、協議会での議論等も踏まえ、本年2月15日に従前の19時から21時まで拡大されたところです。

協議会では、今後、さらなる稼動時間拡大に向けた課題や対応案のほか、日銀ネットの様々な有効活用方法について、協議会に検討結果を報告する検討主体として3つのWG²を新設のうえ、議論・検討を進めていく予定です。日本銀行としても、日銀ネットのさらなる有効活用を通じ、わが国の決済全体の安全性や効率性を一層向上させる観点から、協議会での取組みを引き続き支援して参ります。

つきましては、下記のとおり、日銀ネットの有効活用にご関心のある金融機関等を協議会の新規メンバーとして追加公募致します。

記

①応募要件：日銀ネットの利用金融機関等とします。

②応募期限：4月8日（金）正午

¹ 協議会の名称については、新日銀ネットが昨年10月に全面稼動開始し、21時までの稼動時間拡大が本年2月に実現したことを機に、従来の「新日銀ネット」から「新」を削り、「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」に変更しています。

² 「円とJGBのグローバルな有効活用WG」、「円建て顧客送金・銀行間送金WG」、「クロスボーダー決済インフラWG」。各WGで当面想定されるテーマ等については、日本銀行ホームページ上に公表された「日銀ネットの有効活用に向けた協議会の『今後の検討体制』および『新規メンバーの追加公募』等について」（2016年3月18日）をご参照ください。

③宛 先：日本銀行決済機構局 決済システム課

【電子メールアドレス】 post.pssd57@boj.or.jp

—— ご質問がある場合は、上記の電子メールアドレスまたは03-3277-1173宛てにお問い合わせ下さい。

④応募方法：

③の電子メールアドレス宛てに、電子メールによりご応募ください。その際、件名は、「協議会への参加応募（法人名）」としてください。

⑤その他：

協議会の参加メンバーには、3つのWG²の何れか一つ以上にご参加頂きます。④の電子メールに、参加を希望するWGの名称を併せてご記載ください。

以 上